

第 2 期保健事業実施計画(データヘルス計画)

中間評価

令和 3 年 3 月 八重瀬町

中間評価報告書 目次

第1章 データヘルス計画の概要	1
第2章 中間評価の趣旨	4
1.中間評価の方法	
第3章 中間評価の結果	5
1.中長期的目標、短期目標(アウトカム、アウトプット)の進捗状況 「目標管理一覧表」	
2.ストラクチャー、プロセス評価 「全体評価表」	
3.主な個別事業の評価と課題	
(1) 未受診者対策	
(2) 重症化予防の取り組み	
(3) ポピュレーションアプローチ	
第4章 特定健診・特定保健指導の中間評価と課題	19
1.目標値に対する進捗	
2.特定健診の実施	
3.特定保健指導の実施	
第5章 中間評価、新たな課題を踏まえた目標値の見直し	21

第 1 章 データヘルス計画の概要

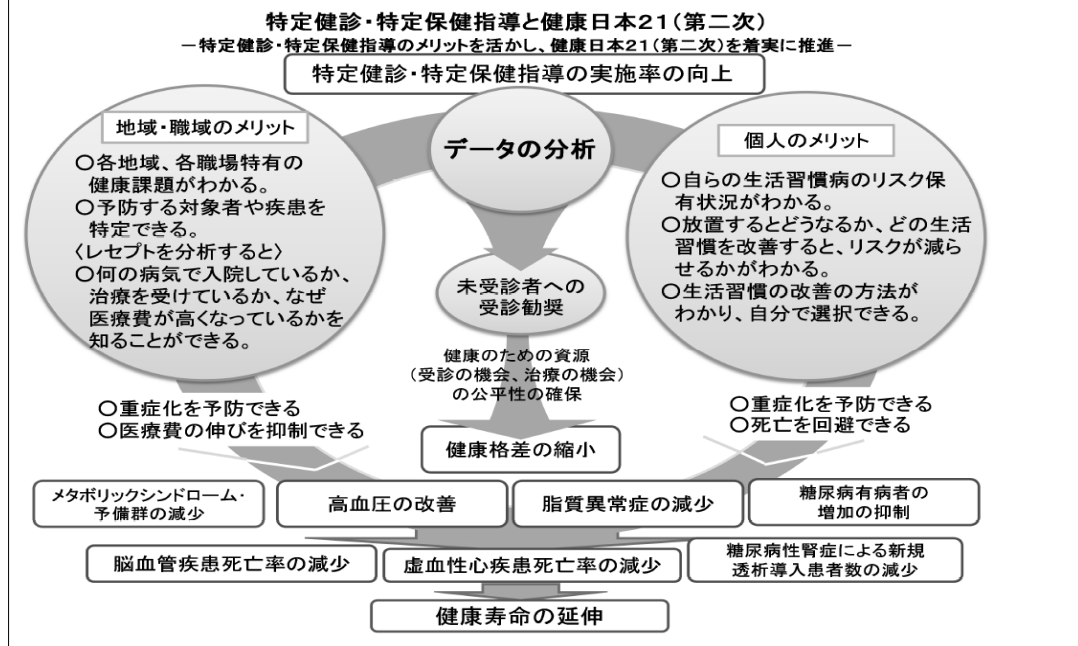
第 2 期保健事業の実施計画（データヘルス計画）とは、「国民健康法に基づく保健事業の実施等に関する指針」に基づき、被保険者の健康の保持増進に資することを目的として、保険者等が効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、特定健診等の結果、レセプトデータ等の健康・医療情報を活用して、P D C A サイクルに沿って運用するものである。

計画は、健康増進法に基づく「基本的な方針」を踏まえるとともに、都道府県健康増進計画や市町村健康増進計画、都道府県医療費適正化計画、介護保険事業計画と調和のとれたものとする必要がある。（図表 1・2・3）計画期間については、平成 30 年度から令和 5 年度までの 6 年間としている。

2

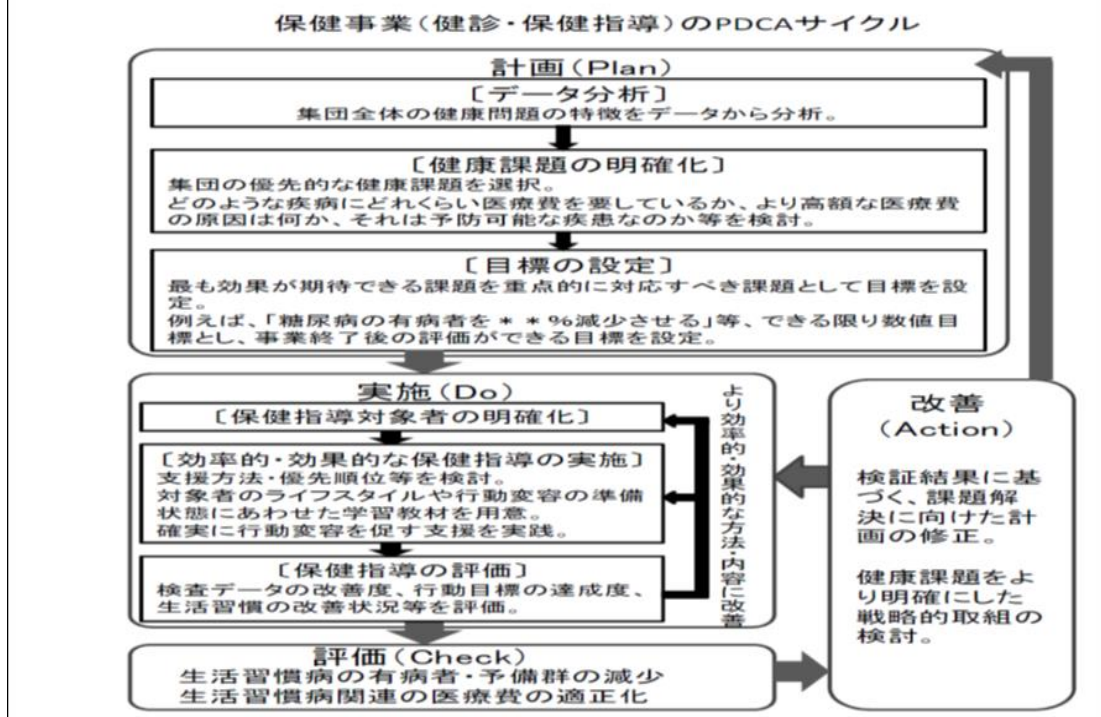
[illegible]

【図表 2】



標準的な健診・保健指導プログラム「30 年度版」より抜粋

【図表 3】



標準的な健診・保健指導プログラム「30 年度版」より抜粋

第2章 中間評価の趣旨

第2期データヘルス計画を推進するにあたり、策定から中間年度にあたる令和2年度において、これまで実施してきた事業の進捗状況把握を中心に今後の目標の見直し等を行います。

1. 中間評価の方法

保険者等は健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ることが求められており、保険者努力支援制度においても4つの指標※を踏まえて評価を行います。具体的にはKDBに収載される健診・医療・介護のデータを用い、受診率・受療率、医療の動向を評価します。また、特定健診の国への実績報告のデータを用いて、経年比較を行うとともに個々の健診結果の改善度を評価します。特に優先すべき課題としての重症化予防事業実施状況は、毎年とりまとめ評価します。中間評価について沖縄県や町の国民健康保険運営協議会、国民健康保険団体連合会(以下国保連合会)に設置している保健事業支援・評価委員会の指導・助言を受けるものとします。

※評価における4つの指標

ストラクチャー (保健事業実施のための体制・システムを整えているか)	・事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか。(予算等も含む) ・保健指導実施のための専門職の配置 ・KDB活用環境の確保
プロセス (保健事業の実施過程)	・保健指導等の手順・教材はそろっているか ・必要なデータは入手できているか。 ・スケジュールどおり行われているか。
アウトプット (保健事業の実施量)	・特定健診受診率、特定保健指導率 ・計画した保健事業を実施したか。 ・保健指導実施数、受診勧奨実施数など
アウトカム (成果)	・設定した目標に達することができたか (検査データの変化、医療費の変化、糖尿病等生活習慣病の有病者の変化、要介護率など)

第3章 中間評価の結果

1. 中長期的目標、短期目標(アウトカム、アウトプット)の進捗状況

第2期データヘルス計画の「目標管理一覧表」【図表43】を用いて、各指標の進捗状況を評価します。

データヘルス計画の目標管理一覧表

【図表43】

関連計画		達成すべき目的	課題を解決するための目標	実績		目標値					現状値の把握方法
				初期値	中間評価	中間評価目標				最終目標	
				H28	R元	H31	R2	R3	R4	R5	
データヘルス計画	中長期目標 アウトカム指標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制	脳血管疾患の総医療費に占める割合15%減少	2.3%	1.8%	2.2%				1.5%	KDBシステム
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合15%減少	1.7%	1.5%	1.5%				1.3%	
			慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合15%減少	7.8%	6.0%	5.9%				5.1%	
			糖尿病性腎症による新規透析導入者(割合)の減少	1人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)				初期値より減少	
	特定健診等計画	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%	37.7%	39.3%	35.0%	37.0%	34.5%	32.0%	30.5%	八重瀬町健康保険課
			健診受診者の高血圧者の割合10%減少(160/100以上)	5.9%	5.5%	5.2%	5.4%	5.2%	5.1%	5.0%	
			健診受診者の脂質異常者の割合10%減少(LDL 160以上)	8.9%	11.1%	8.5%	10.7%	10.3%	9.9%	9.5%	
			健診受診者の血糖異常者の割合10%減少(HbA1c6.5以上)	8.3%	10.0%	7.9%	9.4%	8.8%	8.2%	7.6%	
			糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合80%	67.5%	91.3%	78.6%	92.0%	92.0%	92.0%	92.0%	
			特定保健指導対象者の減少率25%	15.8%	14.8%	14.0%	13.9%	13.0%	12.1%	11.2%	
	短期目標	特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、メタボ該当者、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	38.4%	36.3%	47.0%	36.0%	37.5%	39.0%	40.0%	特定健診・特定保健指導結果(国保中央会)
			特定保健指導実施率60%以上	64.4%	77.9%	66.0%	78.0%	78.0%	78.0%	78.0%	
			糖尿病の保健指導を実施した割合85%以上	77.9%	82.1%	83.1%	82.8%	83.4%	84.2%	85.0%	
努力支援制度	アウトプット	がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 40%以上	8.6%	11.5%	17.0%	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%	地域保健事業報告
			肺がん検診 40%以上	13.7%	10.7%	22.0%	11.0%	12.0%	13.0%	14.0%	
			大腸がん検診 40%以上	9.8%	9.4%	17.0%	10.0%	11.0%	12.0%	13.0%	
			子宮頸がん検診 50%以上	27.9%	26.6%	37.0%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%	
			乳がん検診 50%以上	22.6%	20.6%	39.0%	21.0%	22.0%	23.0%	24.0%	
	自己の健康に関心を持つ住民が増える	健康ポイント等の取り組みを行う実施者の割合の向上		-	-	-	実施	10.0%	13.0%	15.0%	八重瀬町健康保険課 厚生労働省(9月診療)
			後発医薬品の使用により、医療費の削減	78.5%	90.3%	82.0%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%	

初期値よりR元年に改善が認められる数値に○をしています。

中長期目標疾患である脳血管疾患、虚血性心疾患、慢性腎不全の総医療費に占める割合は H28 年と比較してすべて減少がみられます。中長期目標疾患に共通する短期目標疾患（高血圧、糖尿病、脂質異常症者）について早期に発見し、保健指導等で介入していくためには特定健診受診者を増やしていく必要があります。アウトプット指標である特定健診受診率向上に取り組めます。

健診受診者の脂質異常者、血糖異常者の割合は増加しています。健診受診者の HbA1c8.0 以上の未治療者の割合、糖尿病の未治療者の割合は減少しておりますが、メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合も増加しており、引き続きメタボを含めた肥満症の解決が優先課題です。

（１）医療費の状況

一人あたり医療費は H28 年度に比べ高くなっています。総医療費に占める中長期目標疾患である慢性腎不全（透析有）の割合は 7.79%から 5.95%に減少していますが、まだ国・同規模平均より高い状況です。また、脳血管疾患及び虚血性心疾患も減少しており国、県より低い状況です。短期目標疾患でみると糖尿病は横ばいの状況、高血圧及び脂質異常症では減少しており、全てにおいて国、同規模、県より低いです。

データヘルス計画のターゲットとなる疾患が医療費に占める割合

【出典】

KDBシステム：健診・医療介護データから見る地域の健康課題

市町村名		総医療費 (万円)	一人あたり医療費		中長期目標疾患				短期目標疾患			(中長期・短期) 目標疾患医療費計 (万円)		新生物	精神 疾患	筋 骨疾患	
			金額 (円)	順位		腎		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質 異常症					
				同規模	県内	慢性腎不全 (透析有)	慢性腎不全 (透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞								
八重瀬町	H28	25億6883	24,758	106位	9位	7.79%	0.26%	2.29%	1.69%	3.70%	3.10%	1.86%	5億3146	20.70%	7.74%	18.98%	7.97%
	R1	26億2150	26,874	100位	11位	5.95%	0.21%	1.78%	1.54%	3.71%	2.52%	1.54%	4億5239	17.26%	11.47%	13.04%	7.56%
同規模平均	R1	3455億8763	27,767	--	--	4.33%	0.30%	2.14%	1.73%	5.79%	3.70%	2.70%	71,525,086,830	20.70%	15.90%	7.88%	8.92%
県	R1	1215億1223	24,835	--	--	6.44%	0.31%	2.34%	1.72%	3.94%	2.58%	1.62%	230億2980	18.95%	11.27%	11.40%	7.76%
国	R1	9兆0795億2030	27,475	--	--	4.55%	0.31%	2.15%	1.70%	5.44%	3.52%	2.59%	1兆8390億9191	20.26%	16.03%	8.22%	8.80%

最大医療資源傷病（調剤含む）による分類結果

◆「最大医療資源傷病」とは、レセプトに記載された傷病名のうち最も費用を要した傷病名

（２）人工透析導入者の糖尿病性腎症等の状況

人工透析導入者の糖尿病性腎症による者の割合は、R 元年 44.1%へ減少し、H30 年度から新規透析導入者における糖尿病性腎症による者はいない状況が続いています。

人工透析導入者の疾患内訳

		全体	糖尿病性腎症	脳血管疾患	虚血性心疾患
H28.5 診療分	人数	40	20	12	21
			50.0%	30.0%	52.5%
H28年度 累計	件数	481件	260件	159件	248件
			54.1%	33.1%	51.6%
	費用額	2億4421万円	1億3361万円	8002万円	1億2322万円
			54.7%	32.8%	50.5%
R01年5月 診療分	人数	34	15	14	16
			44.1%	41.2%	47.1%
R01年度 累計	件数	496件	200件	180件	207件
			40.3%	36.3%	41.7%
	費用額	2億4503万円	1億0905万円	9210万円	9502万円
			44.5%	37.6%	38.8%

※糖尿病性腎症については人工透析患者のうち、基礎疾患に糖尿病の診断があるものを計上

人工透析患者（長期化する疾患）の状況（厚労省様式 3-7.2-2）

新規透析導入者における糖尿病性腎症の状況

年度	H28	H29	H30	R元年
新規透析者数	1	4	2	3
糖尿病性腎症(再計)	1	3	0	0
割合	100.0%	75.0%	0.0%	0.0%

更生医療申請より集計

(3) 短期目標疾患（高血圧、HbA1c、LDL コレステロール、メタボリックシンドローム）の状況

健診受診者の高血圧、HbA1c、LDL コレステロールにおいて受診勧奨判定者は増加しています。未治療者の減少、コントロール良を目指す為には、ハイリスク対象者への保健指導実施がポイントになります。その点では高血圧Ⅲ度以上及び HbA1c8 以上の割合が減少してきています。

また有所見割合の腹囲及び BMI は全国に比べて大きな開きがあります。メタボを含めた肥満症は、糖尿病・高血圧・脂質異常症の発症のハイリスク要因となります。内臓脂肪の減少によってリスク要因を一挙に改善させ、心血管疾患の発症予防につながります。前年度健診受診者のメタボリックシンドローム該当者・予備軍であった者が、次年度メタボ該当者や予備軍で無くなった者の割合は減少しています。さらにメタボを含む肥満症の解決に向けた保健指導の継続が必要となっています。

健診データのうち有所見者割合の高い項目や年代を把握する（厚生労働省様式5-2）

★N0.23（帳票）

男性		BMI		腹囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		クレアチン	
		25以上		85以上		150以上		31以上		40未満		100以上		5.6以上		7.0以上		130以上		85以上		120以上		1.3以上	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全国		32.6		53.8		28.1		20.4		7.7		34.0		58.7		13.2		49.5		24.4		47.8		2.3	
県		19,709	46.2	27,068	63.4	12,970	30.4	10,236	24.0	3,265	7.7	17,746	41.6	26,635	62.4	9,649	22.6	21,792	51.1	11,141	26.1	21,167	49.6	1,109	2.6
八重瀬町	合計	372	42.4	555	63.3	221	25.2	207	23.6	68	7.8	397	45.3	519	59.2	171	19.5	422	48.1	242	27.6	417	47.5	12	1.4
	40-64	171	46.2	233	63.0	117	31.6	124	33.5	31	8.4	142	38.4	190	51.4	82	22.2	150	40.5	119	32.2	194	52.4	2	0.5
	65-74	201	39.6	322	63.5	104	20.5	83	16.4	37	7.3	255	50.3	329	64.9	89	17.6	272	53.6	123	24.3	223	44.0	10	2.0

女性	BMI		腹囲		中性脂肪		GPT		HDL-C		血糖		HbA1c		尿酸		収縮期血圧		拡張期血圧		LDL-C		クレアチン		
	25以上		90以上		150以上		31以上		40未満		100以上		5.6以上		7.0以上		130以上		85以上		120以上		1.3以上		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
全国	21.7		18.8		16.2		8.9		1.5		21.2		57.8		1.8		43.6		15.2		57.7		0.2		
県	16,115	34.4	13,077	27.9	8,537	18.2	5,627	12.0	842	1.8	12,373	26.4	29,640	63.2	2,008	4.3	20,744	44.3	7,996	17.1	27,356	58.4	216	0.5	
八重瀬町	合計	283	32.7	234	27.0	138	15.9	106	12.2	14	1.6	249	28.8	536	61.9	23	2.7	405	46.8	166	19.2	482	55.7	2	0.2
	40-64	87	29.3	82	27.6	52	17.5	37	12.5	4	1.3	58	19.5	146	49.2	11	3.7	113	38.0	57	19.2	163	54.9	1	0.3
	65-74	196	34.4	152	26.7	86	15.1	69	12.1	10	1.8	191	33.6	390	68.5	12	2.1	292	51.3	109	19.2	319	56.1	1	0.2

*全国については、有所見割合のみ表示

【高血圧の状況】

	血圧 測定者	正常				保健指導				受診勧奨判定値							
		正常		正常高値		高値血圧		Ⅰ度		Ⅱ度		Ⅲ度					
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合				
H28	1,982	534	26.9%	326	16.4%	547	27.6%	460	23.2%	87	4.4%	28	1.4%				
H29	1,876	483	25.7%	360	19.2%	485	25.9%	448	23.9%	88	4.7%	12	0.6%				
H30	1,622	460	28.4%	259	16.0%	470	29.0%	346	21.3%	74	4.6%	13	0.8%				
R1	1,844	489	26.5%	315	17.1%	486	26.4%	451	24.5%	91	4.9%	12	0.7%				

【HbA1cの状況】

	HbA1c 測定者	正常		保健指導判定値				受診勧奨判定値							
		5.5以下		5.6～5.9		6.0～6.4		6.5～6.9		7.0～7.9		8.0以上			
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
H28	1,954	994	50.9%	602	30.8%	196	10.0%	71	3.6%	57	2.9%	34	1.7%		
H29	1,842	887	48.2%	609	33.1%	202	11.0%	69	3.7%	38	2.1%	37	2.0%		
H30	1,612	718	44.5%	551	34.2%	197	12.2%	70	4.3%	48	3.0%	28	1.7%		
R1	1,814	709	39.1%	683	37.7%	241	13.3%	89	4.9%	63	3.5%	29	1.6%		

【LDLコレステロール（脂質）の状況】

	LDL 測定者	正常		保健指導判定値		受診勧奨判定値							
		120未満		120～139		140～159		160～179		180以上			
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合		
H28	1,981	988	49.9%	496	25.0%	321	16.2%	109	5.5%	67	3.4%		
H29	1,876	919	49.0%	463	24.7%	296	15.8%	124	6.6%	74	3.9%		
H30	1,622	777	47.9%	407	25.1%	259	16.0%	117	7.2%	62	3.8%		
R1	1,844	893	48.4%	455	24.7%	293	15.9%	124	6.7%	79	4.3%		

【メタリックシンドローム予備群の状況】

	前年度 予備群 だった者 の数	該当者・ 予備群で 無くなった者	減少率
H28	303	57	18.8%
H29	270	43	15.9%
H30	252	43	17.1%
R元	267	41	↓ 15.4%

【メタリックシンドローム該当者の状況】

	前年度 該当者 だった者 の数	予備群と なった者	割合	該当者・ 予備群で 無くなった者	割合	内臓脂肪 症候群該 当者の 減少率
H28	327	29	8.9%	28	8.6%	17.4%
H29	373	46	12.3%	25	6.7%	19.0%
H30	333	29	8.7%	24	7.2%	15.9%
R元	363	28	7.7%	29	8.0%	↓ 15.7%

2.ストラクチャー、プロセス評価

「全体評価表」

令和元年度の実践をふまえ、今後の取り組みと課題「全体評価表」

[illegible]

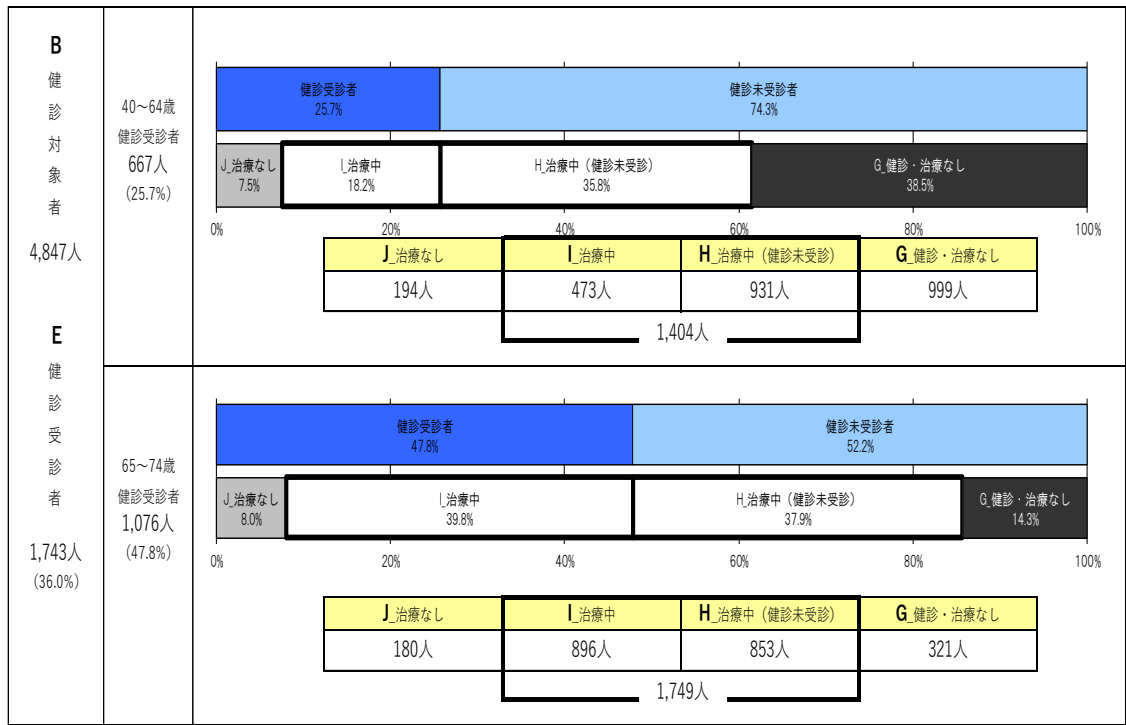
3.主な個別事業の評価と課題

(1) 健診未受診者対策

健診受診率は 36%前後で低迷しています。G_健診・治療のない人は重症化しているかどうか実態がわかりません。また、健診未受診者の生活習慣病治療に係る費用は、健診受診者の 7 倍かかっています。介護保険 2 号(40 歳から 64 歳)新規認定者数は 13 人おり、そのうち国保加入者だった者 7 人、I_健診を受けていたのは 1 人でした。まずは健診の受診勧奨を徹底し、新規受診者の獲得、状態に応じた保健指導を行い健診のリピーターを増やす必要があります。

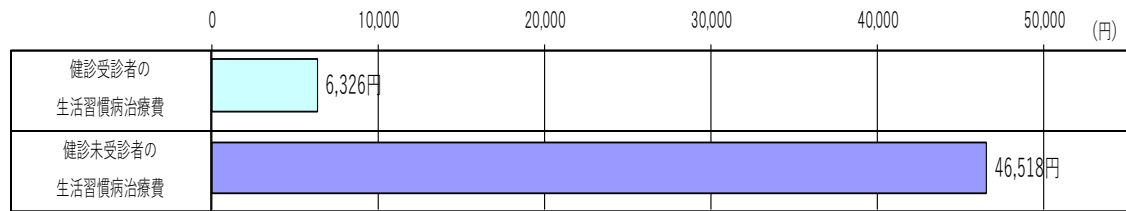
未受診者対策を考える（厚生労働省様式5-5）

★NO.26 (CSV)



費用対効果：特定健診の受診有無と生活習慣病治療にかかっているお金

★NO.3_⑥



介護保険 2号新規認定者の健診受診状況

		新規 認定者	認定前 国保 加入者	発症前の 2年間に 健診受診 有の者
H28年度	男	8人	7人	1人
	女	7人	2人	1人
	計	15人	9人	2人
H29年度	男	6人	5人	1人
	女	5人	3人	0人
	計	11人	8人	1人
H30年度	男	9人	5人	0人
	女	2人	0人	0人
	計	11人	5人	0人
R元年度	男	7人	4人	0人
	女	6人	3人	1人
	計	13人	7人	1人

特定疾病内訳

	H28	H29	H30	R1
脳血管疾患	6	7	8	9
糖尿病性疾患	0	0	1	3
初老期認知症	2	0	1	0
ガン末期	3	2	0	1
慢性閉塞性肺疾患	1	0	0	0
多系統萎縮症	1	0	0	0
脊柱管狭窄症	1	0	0	0
パーキンソン病関連	1	1	1	0
脊髄小脳変性症	0	1	0	0
	15	11	11	13

(2) 重症化予防の取り組み

①心電図検査

心原性脳塞栓症及び虚血性心疾患による重症化予防を目的として心電図検査全数実施を目指し、健診受診時に検査案内しています。心電図検査は約 58%が実施できています。

有所見者のうち ST 所見をみると、要精査・要医療と判定を受けた者のうち約 57%が医療機関受診しています。また心房細動判定者に関しては、全数が医療機関にて受診継続フォローされています。

これからも ST 所見で要精査・要医療以外の判定の者や治療中の者に対して、治療中断を防ぎ個別のリスク(肥満、高血圧等)に応じた保健指導を継続して行います。

心電図検査結果

	健診受 診者数	心電図検査 (b)		所見有		ST所見あり(c)		その他所見(d)		異常なし (e)	
		人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
H28年度	1976	1054	53.3	305	28.9	29	9.5	276	90.5	682	64.7
R元年度	1852	1066	57.6	262	24.6	26	9.9	232	88.5	804	75.4

ST所見ありで要精査(未治療者)の医療機関受診状況

	ST所見あり	要精査		医療機関受診		受診なし	
	(人)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
H28年度	29	12	41.4	9	75.0	3	25.0
R元年度	26	7	26.9	4	57.1	3	42.9

心房細動有所見者の治療の有無

	心房細動有所見者		治療の有無			
			治療中		未治療者	
	人	%	人	%	人	%
H28年度	5	0.5	4	80.0	1	20.0
R元年度	2	0.2	2	100.0	0	0.0

②新規人工透析予防

将来人工透析導入のハイリスクである①糖尿病型かつ尿蛋白(+)以上またはeGFR60未満(70歳以上は50未満)、②尿蛋白(2+)以上またはeGFR50未満(70歳以上は40未満)が増加しているため、未治療者への受診勧奨、詳細検査の実施、医療機関との連携しながら、個別のリスク(肥満、高血圧、糖尿病等)に応じた保健指導及び栄養指導を継続して取り組めます。

ハイリスク所見有の対象者99人のうち、約95%に保健指導を実施しています。そのうち未治療者2人に関しては、生活習慣改善の取り組みを指導中でした。

CKD該当者を明確にしましょう(CKD重症度分類)

原疾患			糖尿病	正常	微量アルブミン尿		顕性アルブミン尿	
			高血圧・腎炎など	正常	軽度蛋白尿		高度蛋白尿	
尿蛋白区分 GFR区分 (ml/分/1.73㎡)				A1	A2		A3	
				(－)	(±)	【再掲】 尿潜血＋以上	(＋)以上	
				尿検査・GFR 共に実施 1,788 人	1,593 人 89.1%	113 人 6.3%	21 人 18.6%	82 人 4.6%
G1	正常 または高値	90以上	192 人 10.7%	173 人 9.7%	11 人 0.6%	2 人 18.2%	8 人 0.4%	
G2	正常または 軽度低下	60-90 未満	1,295 人 72.4%	1,169 人 65.4%	87 人 4.9%	14 人 16.1%	39 人 2.2%	
G3a	軽度～ 中等度低下	45-60 未満	270 人 15.1%	229 人 12.8%	13 人 0.7%	5 人 38.5%	28 人 1.6%	
G3b	中等度～ 高度低下	30-45 未満	27 人 1.5%	21 人 1.2%	1 人 0.1%	0 人 0.0%	5 人 0.3%	
G4	高度低下	15-30 未満	3 人 0.2%	1 人 0.1%	1 人 0.1%	0 人 0.0%	1 人 0.1%	
G5	末期腎不全 (ESKD)	15未満	1 人 0.1%	0 人 0.0%	0 人 0.0%	0 人 —	1 人 0.1%	

人工透析導入のハイリスク所見ありの医療機関受診状況

	対象者数	保健指導者数					
		医療機関受診有			未受診(中断含む)		
R元年度	99人	94人	94.9%	92人	97.9%	2人	2.1%

③糖尿病重症化予防

血糖値有所見者への管理台帳を作成し、以後毎年追加しながら経年的に保健指導を実施しています。H24 年度から HbA1c6.5%以上の未治療者、HbA1c7.0%以上のコントロール不良者は生活改善指導及び医療中断させないよう指導してきました。H29 年度からは HbA1c8%以上の高血糖者を優先対象者とし、重点的に支援してきました。その結果 HbA1c8%以上の未治療者・中断者は減ってきています。

HbA1c6.5%以上の有所見者 130 人のうち保健指導実施できた者は 121 人。その中でも未治療者 51 人に関しては、48 人が治療を開始し、残り 3 人はかかりつけ医と相談や医療機関受診拒否で生活習慣改善に取り組みを指導中でした。

今後、肥満があるとインスリン抵抗性(*1)を起こし血糖悪化の原因となるため、治療中の方を含め医療と連携しながら、保健師・管理栄養士等が指導を行い血糖改善の支援をしていきます。 *1 インスリン抵抗性：血中インスリン濃度に見合ったインスリン作用が得られない状態

【対象者抽出基準】												
①H25年度以降の健診結果で、一度でもHbA1c6.5以上に該当した者												
②H29年度の健診で空腹時血糖126mg/dl(随時200mg/dl)以上に該当した者												
③H29年度の健診時点で糖尿病治療中の者												
※糖尿病服薬は問診結果による												
番号	住所	番地	シメイ氏名	R2年度末	診療開始日 合併症の有無	項目	H28	H29	H30	H31(R1)	R2	転出・死亡等
1				男	48	糖尿病	H25.11.30	糖	服薬	通院		
						高血圧		HbA1c		6.5		
						虚血性心疾患		体重		85.2		
						脳血管疾患		BMI		30.5		
						糖尿病性腎症		血圧		142/77		
								GFR		85.5		
2			男	51	糖尿病	H25.10.21	糖	服薬	○	○		
					高血圧		HbA1c	10.9	12.2			
					虚血性心疾患		体重	62.7	62.8			
					脳血管疾患		BMI	24.3	24.2			
					糖尿病性腎症		血圧	119/81	160/104			
					糖尿病性網膜症	H.26.1.16	CKD	GFR	84.3	53.7		
3			男	51	糖尿病	H.25.1.25	糖	服薬				
					高血圧	H25.1.25	HbA1c					
					虚血性心疾患		体重					
					脳血管疾患		BMI					
					糖尿病性腎症		血圧					
							GFR					
4			男	52	糖尿病	H.18.2.15	糖	服薬		○		
					高血圧	H.15.1.9	HbA1c		8.9			
					虚血性心疾患		体重		62.7			
					脳血管疾患		BMI		19.4			
					糖尿病性腎症		血圧		128/80			
							GFR		104.1			
5			女	52	糖尿病	H31.1.31	糖	服薬	通院	通院	○	
					高血圧		HbA1c	5.9	6.2	7.9	5.5	
					虚血性心疾患		体重	57	57	58.3	55.5	
					脳血管疾患		BMI	23.1	23.3	23.7	22.5	
					糖尿病性腎症		血圧	107/69	112/71	109/70	103/68	
							GFR	89	94	81.6	82.6	

血糖値有所見者（HbA1c6.5%以上）の保健指導実施者

	受診勧奨 対象者数	受診勧奨 実施人数	割合
HbA1c6.5%以上	130	121	93.1%
HbA1c8.0%以上	29	21	72.4%

④要医療者未受診者対策

重症化予防対策 未治療・中断者

	受診勧奨 対象者数	受診勧奨 実施人数	割合	治療開始者数	割合
高血圧(Ⅱ度以上)	46	30	65.2%	14	30.4%
HbA1c6.5%以上	51	51	100.0%	48	94.1%
LDL160以上	184	84	45.7%	28	15.2%

ア) 血圧Ⅱ度以上の状況

R元年度、血圧Ⅱ度以上の者の割合は5.5%とH28年度よりは減少していますが、H29年度から徐々に増加してきています。

血圧Ⅱ度以上の未治療者46人のうち保健指導実施できた者は30人、その後治療開始になった者は14人でした。その中でもⅢ度以上の者で未治療者7人に関しては、3人が治療を開始し、残り4人は家庭血圧正常値や医療機関受診勧奨中でした。

高血圧は脳血管疾患において最大の危険因子です。脳血管疾患は介護認定の原因のひとつであり、高血圧以外の危険因子との組み合わせにより、脳心腎疾患など臓器障害の程度と深く関与しています。血圧に基づいた脳心血管リスク層別化（降圧薬治療者を除く）①血圧Ⅲ度、Ⅱ度の未治療者、②血圧Ⅰ度でリスク第3層（脳心既往有、糖尿病、蛋白尿等のリスク有）の未治療者へ治療の必要性を理解してもらうための支援と適切な受診勧奨に取り組んでいきます。

また、血圧の治療をしているにもかかわらず、コントロール不良の方が38%いました。服薬状況の確認に加えリスクを有する場合は医療機関と連携した保健指導を行います。高値血圧以上の者には、家庭血圧測定の勧めや血圧手帳の活用を促していきます。

血圧に基づいた脳心血管リスク層別化

特定健診受診結果より(降圧薬治療者を除く)

血圧分類 (mmHg)		高値血圧	I 度高血圧	II 度高血圧	III 度高血圧
		130～139 /80～89	140～159 /90～99	160～179 /100～109	180以上 /110以上
リスク層 (血圧以外のリスク因子)	529	258 48.8%	224 42.3%	40 7.6%	7 1.3%
	34	C 16 6.4%	B 11 4.9%	B 5 12.5%	A 2 28.6%
リスク第1層 予後影響因子がない	319	C 153 60.3%	B 138 61.6%	A 26 65.0%	A 2 28.6%
	176	B 89 33.3%	A 75 33.5%	A 9 22.5%	A 3 42.9%
リスク第2層 高齢(65歳以上)、男性、脂質異常症、喫煙のいずれかがある	176	B 89 33.3%	A 75 33.5%	A 9 22.5%	A 3 42.9%
	33.3%	34.5%	33.5%	22.5%	42.9%
リスク第3層 脳心血管病既往、非弁膜症性心房細動、糖尿病、蛋白尿のいずれか、またはリスク2層の危険因子が3つ以上ある	176	B 89 33.3%	A 75 33.5%	A 9 22.5%	A 3 42.9%
	33.3%	34.5%	33.5%	22.5%	42.9%

(参考) 高血圧治療ガイドライン2019 日本高血圧学会

イ) LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の状況

R 元年度、LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の者の割合は 11%と増加しています。

LDL コレステロール 160 mg/dl 以上の未治療者 184 人のうち保健指導実施できた者は半数にも届かず 84 人となっており、その後治療開始になった者は 28 人でした。その中でも LDL コレステロール 180 mg/dl 以上の者で未治療者 72 人に関しては 38 人に保健指導を実施し、治療開始になった者は 15 人。残りの方はまず生活改善実践してみしてから受診を考えたいと病院受診を保留中 18 人、病院受診拒否 5 人でした。脂質異常症も脳心血管疾患のリスクであり、重症化予防の為に経年的に受診勧奨値の者は内服治療へつながるよう支援していきます。

また、内服治療をしているにもかかわらず、コントロール不良の方が 15%いました。自覚症状もないことから値が下がると内服終了してしまう者がいるので、受診及び服薬を自己中断しないよう内服の必要性を理解してもらうよう取り組んでいきます。

保健指導対象者の明確化と優先順位の決定

冠動脈疾患予防からみた

LDLコレステロール管理目標

特定健診受診結果より(脂質異常治療者(問診結果より服薬あり)を除く)

管理区分及びLDL管理目標 ()内はNon-HDL				健診結果 (LDL-C)			
				120-139	140-159	160-179	180以上
				794	362 45.6%	248 31.2%	112 14.1%
一次予防 まず生活習慣の改善を行った後、薬物療法の適応を考慮する	低リスク	160未満 (190未満)	172 21.7%	87 24.0%	71 28.6%	9 8.0%	5 6.9%
	中リスク	140未満 (170未満)	334 42.1%	151 41.7%	87 35.1%	64 57.1%	32 44.4%
	高リスク	120未満 (150未満)	260 32.7%	112 30.9%	83 33.5%	31 27.7%	34 47.2%
二次予防 生活習慣の是正と共に薬物療法を考慮する	冠動脈の既往	100未満 (130未満)	28 3.5%	12 3.3%	7 2.8%	8 7.1%	1 1.4%

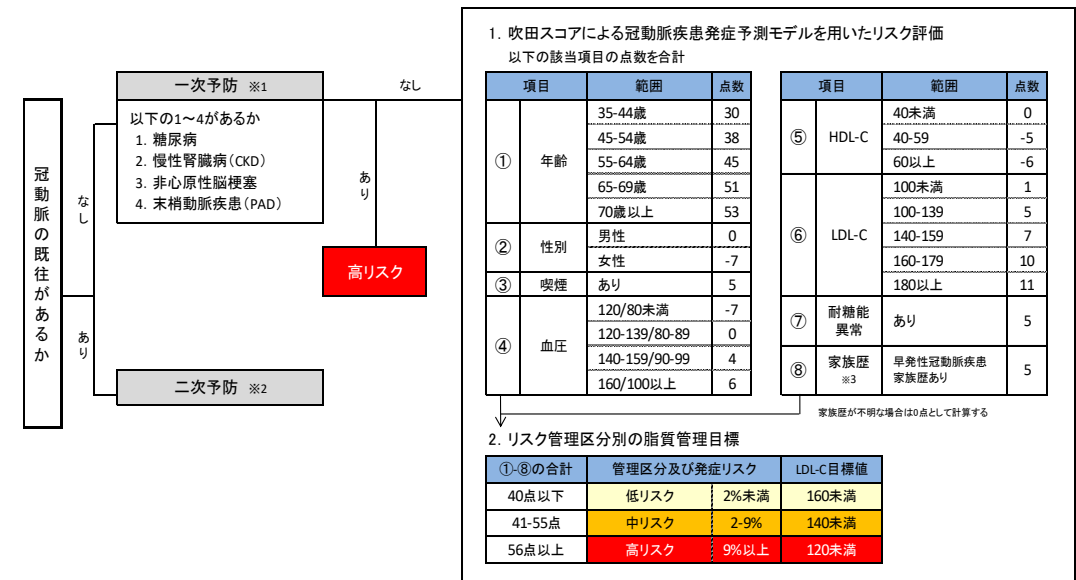
(参考) 動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症診療ガイド 日本動脈硬化学会

※一次予防においては、LDL低下率20～30%、二次予防においてはLDL低下率50%以上も目標となりうる。

※低リスクにおいてもLDL180mg/dl以上の場合は、薬物療法を考慮するとともに、家族性高コレステロール血症の可能性を念頭におく。

【参考】

冠動脈疾患予防からみたLDL-C管理目標設定フローチャート



※1 一次予防のうち、健診結果から判断できる1(糖尿病)・2(CKD)のみで判定。

■糖尿病…問診結果で服薬ありと回答した者、または空腹時血糖 ≥ 126 、HbA1c ≥ 6.5 、随時血糖 ≥ 200 のいずれかに該当した者

■CKD…eGFR60未満または尿蛋白(±)以上

※2 問診結果で心臓病(狭心症、心筋梗塞等)の治療または医師から言われたことがあると回答した者で判断。

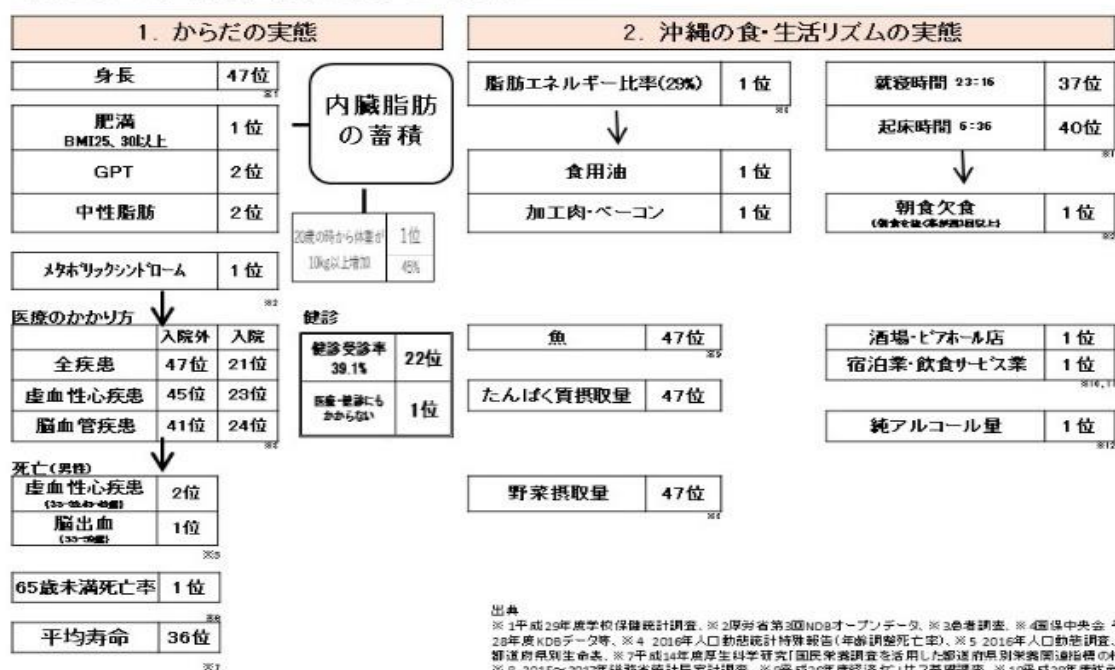
※3 家族歴は健診結果から判断できないため、上記集計の判定には含まない。

(3) ポピュレーションアプローチ

令和元年度において、生活習慣病重症化により医療費や介護費、社会保障費の増大につながっている沖縄県の実態や食生活、生活リズム等の生活背景との関連について、健康展や広報等で広く住民に周知を行いました。

また、肥満改善を目的として結果説明会にて、一日の摂取量の目安や食品に含まれる油の量の展示及び説明を行いました。さらに、管理栄養士により婦人がん検診会場や結果説明会場、健康教室等で食育 SAT を活用した栄養指導を行いました。

沖縄の健康状態と食・生活リズム



第4章 特定健診・特定保健指導の中間評価と課題

1. 目標値に対する進捗

特定健診受診率は減少しており、目標値にも届いていません。

特定保健指導率は目標値を達成しており、特定保健指導対象者も減少しています。

(「目標管理一覧表」参照)

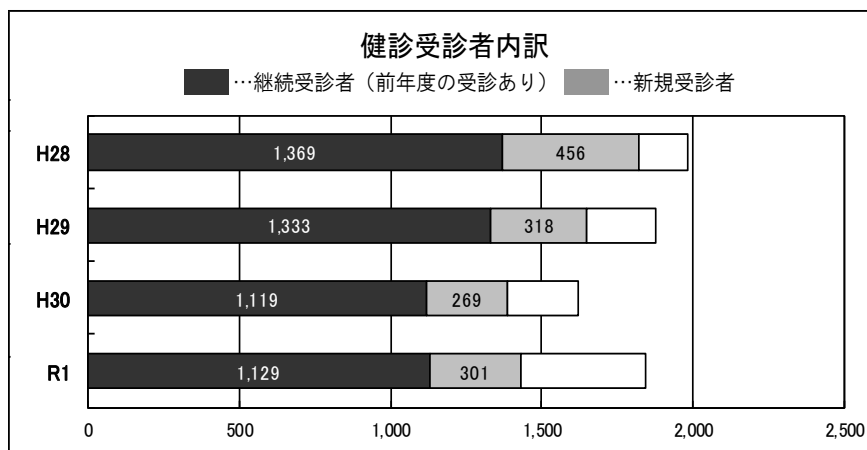
2. 特定健診の実施

40～50代の受診率が低いこと、継続受診率も約7割で低いことから、指導員及び協力員へ訪問依頼し、健診受診勧奨を行っているが受診率は伸び悩んでいます。これまでの訪問による受診勧奨を継続する他に、ナッジ理論を用いた特定健診受診勧奨の導入やインセンティブの活用等検討し、受診勧奨を強化していきます。

集団健診において平成28年度から心電図検査を無料化しており、今後も検査案内していきます。

6年間の受診率の伸びをみる

	総 数							男 性							女 性						
	H26			R1			伸び率	H26			R1			伸び率	H26			R1			伸び率
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率		対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率		対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	
総数	5,573	1,945	34.9%	5,271	1,844	35.0%	0.1%	3,095	932	30.1%	2,952	912	30.9%	0.8%	2,478	1,013	40.9%	2,319	932	40.2%	-0.7%
40代	1,130	201	17.8%	951	163	17.1%	-0.6%	687	106	15.4%	584	96	16.4%	1.0%	443	95	21.4%	367	67	18.3%	-3.2%
50代	1,499	395	26.4%	1,144	294	25.7%	-0.7%	852	202	23.7%	694	163	23.5%	-0.2%	647	193	29.8%	450	131	29.1%	-0.7%
60代	2,041	913	44.7%	2,264	868	38.3%	-6.4%	1,100	420	38.2%	1,187	406	34.2%	-4.0%	941	493	52.4%	1,077	462	42.9%	-9.5%
70代	903	436	48.3%	912	519	56.9%	8.6%	456	204	44.7%	487	247	50.7%	6.0%	447	232	51.9%	425	272	64.0%	12.1%
再/40～64歳	3,805	1,037	27.3%	2,972	733	24.7%	-2.6%	2,176	505	23.2%	1,738	388	22.3%	-0.9%	1,629	532	32.7%	1,234	345	28.0%	-4.7%
再/65～74歳	1,768	908	51.4%	2,299	1,111	48.3%	-3.0%	919	427	46.5%	1,214	524	43.2%	-3.3%	849	481	56.7%	1,085	587	54.1%	-2.6%



3. 特定保健指導の実施

特定保健指導該当者は減少、保健指導実施率は目標達成しているが、メタボリックシンドローム該当者は増加しているため、引き続き肥満症を含めたメタボ解決に向けて保健指導を実施していきます。

特定保健指導率

		H28	H29	H30	R1
特定保健指導該当者数		298	274	292	258
特定保健指導の実施者数		192	185	252	201
(再掲)	積極的支援	32	49	66	46
	動機づけ支援	160	136	186	155
特定保健指導の実施率		64.4%	67.5%	86.3%	77.9%

法定報告より

第5章 中間評価、新たな課題を踏まえた目標値の見直し

保険者努力支援制度評価指標や新たな課題等を踏まえ、「健診受診者の HbA1c8 以上の未治療者の割合減少」、「5 つのがん検診の平均受診率」、「歯科健診（歯周病検診含む）」、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」の 4 つの目標値について追加しました。

1 健診受診者の HbA1c8 以上の未治療者の割合減少

第3章3(2)③を参照

2 5 つのがん検診の平均受診率

がん検診受診率をみると、子宮がん・乳がん検診は 20%台を推移していますが、胃がん・大腸がん・肺がん検診は 10%前後と低い状況です。また、令和元年度は大腸がん検診以外ほぼ全ての受診率で下がっています。集団健診では特定健診とがん検診の同時実施を行い、がん検診受診率向上を図っていますが、更なる未受診者対策が必要です。

がん検診受診率の推移

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
胃がん	男	7.8%	10.6%	10.1%	9.2%
	女	9.4%	14.3%	16.0%	13.7%
	計	8.6%	12.5%	13.0%	11.5%
大腸がん	男	7.9%	7.7%	7.1%	7.4%
	女	11.7%	12.3%	11.5%	11.4%
	計	9.8%	10.0%	9.3%	9.4%
肺がん	男	13.6%	10.0%	9.7%	9.0%
	女	13.8%	13.8%	12.7%	12.3%
	計	13.7%	11.9%	11.2%	10.7%
子宮がん	女	27.9%	27.7%	27.5%	26.6%
乳がん	女	22.6%	21.7%	21.0%	20.6%
5つのがん検診の 平均受診率		16.5%	16.8%	16.4%	15.8%

3 歯科健診（歯周病検診含む）

令和元年度より実施。40・50・60・70 歳を対象として抽出し、歯周病検診受診券を送付しています。町内の歯科医院 3 か所と連携を取っていきます。

4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

首相官邸に「全世代型社会保障検討会議」が設置され、人生 100 年時代に向けた

そこで、本町でも沖縄県後期高齢者広域連合から事業を受託し、「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を令和４年度実施に向けて、令和２年度より関係機関等と話し合いを重ね積極的に取り組んでいます。具体的には、①企画・調整等を担当する医療専門職(保健師)を配置し、KDBシステム等を活用し健診・医療・介護のデータの一体的な分析から重症化予防・介護予防対象者を把握(E表)し、医療・介護等の関係機関と連絡調整を行います。②地域を担当する保健師等を配置し、高血糖や高血圧等で未治療者・要精査等対象者を抽出し、高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ)を行います。75歳を過ぎても支援が途切れないよう糖尿病等各管理台帳を基に、糖尿病や高血圧などの重症化予防を行います。また、生活習慣病からのフレイル、認知症予防のため、通いの場を活用した健康教室等、健康教育や健康相談を実施していきます。(ポピュレーションアプローチ)

[illegible]

(KDB システム等を活用したデータから実態をみる)

健診・医療・介護の一体的な分析については、かねてより予防活動に力を入れている長野県 M 町と比較してみました。本町は若い頃から後期に至るまで肥満が約 4 割と高いです(表 2)。その結果、糖尿病、高血圧、脳心血管疾患を発症し、認知症や骨折も高い状況です(表 2・3・5)。医療費の地域差指数は国保 1.12、後期 1.14 と高く、M 町に比べ高齢化率が高くない割に介護認定者率や要介護度 3 以上の割合が多く重症化しています(表 1・4)。今後、高齢者の医療費の伸びの抑制や介護費用適正化のため、若い世代から肥満の改善に取り組み、75 歳を過ぎても継続支援していきます。

(表1) 高齢化率、医療費、介護の状況

	人口	高齢化率	医療費 地域差指数		介護 認定率	介護保険 の割合
			国保	後期	75～	要介護3 以上
沖 縄 県	1,476,178	19.6	1.09	1.10	29.7	42.2
八 重 瀬 町	19,810	19.4	1.12	1.14	30.1	43.1
長野県 M町	12,904	33.1	0.80	0.84	23.8	39.9

(表2) 肥満や基礎疾患の受診状況

	健診受診率		健診結果			基礎疾患の医療機関の受診率								
	特定 健診	長寿 健診	肥満(BMI25以上)			糖尿病			高血圧			糖尿病+高血圧		
	40～74	75～	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～
沖 縄 県	39.3	28.4	39.2	40.5	41.6	38.2	41.6	38.5	77.0	83.0	86.4	25.8	32.5	33.0
八 重 瀬 町	36.7	30.7	39.0	37.4	39.1	38.0	40.3	33.7	77.5	85.7	86.9	26.2	32.6	29.5
長野県 M町	67.5	14.8	22.9	21.5	14.3	30.4	31.3	26.8	74.1	78.9	84.8	17.7	22.1	22.2

(表3) 重症化疾患の医療機関の受診状況

	脳血管疾患			虚血性心疾患			心不全			腎不全		
	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～
沖 縄 県	5.2	15.2	31.6	3.6	10.6	21.4	5.8	15.3	30.9	4.7	10.1	16.7
八 重 瀬 町	5.0	16.0	32.2	3.7	12.4	21.0	6.3	21.3	38.1	4.1	9.9	17.5
長野県 M町	5.8	14.6	36.0	2.5	9.5	20.7	4.2	15.4	38.7	4.0	5.5	10.5

(表4) 重症化疾患のうち介護認定を受けている割合

	脳血管疾患			虚血性心疾患			心不全			腎不全		
	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～	40～64	65～74	75～
沖 縄 県	9.5	12.0	41.0	3.1	6.1	34.4	2.8	6.8	38.6	3.3	8.2	39.4
八 重 瀬 町	9.9	11.7	42.1	1.8	4.5	33.5	2.6	5.9	38.0	0.8	7.9	39.0
長野県 M町	9.7	7.4	33.0	7.4	5.7	32.3	6.7	4.0	29.5	4.8	4.9	32.9

(表5) フレイルに関する医療・介護の状況

	医療レセプト								介護レセプト			
	生活習慣病との重なり (高血圧・糖尿病)				加齢によるその他の疾患 (被保険割合)				加齢による疾患のうち 要介護認定者			
	骨折		認知		骨折		認知症		骨折		認知症	
	65～74	75～	65～74	75～	65～74	75～	65～74	75～	65～74	75～	65～74	75～
沖 縄 県	63.3	81.7	70.3	79.5	3.6	15.0	1.5	15.1	13.1	57.0	55.6	77.9
八 重 瀬 町	59.2	80.8	67.4	79.8	3.3	15.9	1.9	15.6	6.6	57.1	44.2	71.4
長野県 M町	53.2	81.2	58.8	72.2	3.2	9.5	1.2	13.2	8.5	53.7	35.3	70.0

5 見直し後の目標管理一覧表

データヘルス計画の目標管理一覧表

【図表 43】

関連 計画			達成すべき目的	課題を解決するための目標	実績		目標値				現状値の把握方法
					初期値	中間評価				最終目標	
					H28	R元	R2	R3	R4	R5	
データヘルス計画	中長期目標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制	脳血管疾患の総医療費に占める割合15%減少	2.3%	1.8%				1.5%	KDBシステム	
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合15%減少	1.7%	1.5%				1.3%		
			慢性腎不全(透析有)の総医療費に占める割合15%減少	7.8%	6.0%				5.1%		
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少	50.0%	44.1%				初期値より減少		
			糖尿病性腎症による新規透析導入者(割合)の減少	1人(100%)	0人(0%)				現状維持		
	アウトカム指標	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症の発症を予防するために、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドローム等の対象者を減らす	メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%	37.7%	39.3%	37.0%	34.5%	32.0%	30.5%	八重瀬町 社会福祉課	
			健診受診者の高血圧者の割合10%減少(160/100以上)	5.9%	5.5%	5.4%	5.2%	5.1%	5.0%		
			健診受診者の脂質異常者の割合10%減少(LDL160以上)	8.9%	11.1%	10.7%	10.3%	9.9%	9.5%		
			健診受診者の血糖異常者の割合10%減少(HbA1c6.5以上)	8.3%	10.0%	9.4%	8.8%	8.2%	7.6%		
			健診受診者のHbA1c8以上の未治療者の割合減少	0.56%	初期値0.44%	0.41%	0.38%	0.35%	0.32%		
			糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合80%	67.5%	91.3%	92.0%	92.0%	92.0%	92.0%		
			特定保健指導対象者の減少率25%	15.8%	14.8%	13.9%	13.0%	12.1%	11.2%		
	特定健診等計画		特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、メタボ該当者、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	38.4%	36.3%	36.0%	37.5%	39.0%	40.0%	特定健診・
				特定保健指導実施率60%以上	64.4%	77.9%	78.0%	78.0%	78.0%	78.0%	特定保健指導結果(国
				糖尿病の保健指導を実施した割合85%以上	77.9%	82.1%	82.8%	83.4%	84.2%	85.0%	保中央会)
努力支援制度	アウトプット	がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 40%以上	8.6%	11.5%	12.0%	13.0%	14.0%	15.0%	地域保健事業報告	
			肺がん検診 40%以上	13.7%	10.7%	11.0%	12.0%	13.0%	14.0%		
			大腸がん検診 40%以上	9.8%	9.4%	10.0%	11.0%	12.0%	13.0%		
			子宮頸がん検診 50%以上	27.9%	26.6%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%		
			乳がん検診 50%以上	22.6%	20.6%	21.0%	22.0%	23.0%	24.0%		
			5つのがん検診の平均受診率の増加 25%	16.5%	初期値15.8	16.8%	17.8%	18.8%	19.8%		
	歯科検診(歯周病検診)	歯科検診(歯周病検診を含む)の受診率の増加	-	初期値5.7%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%			
	自己の健康に関心を持つ住民が増える	健康ポイント等の取組みを行う実施者の割合の向上	-	-	初期値8.2%	10.0%	13.0%	15.0%	八重瀬町健康保険課		
	後発医薬品の使用により、医療費の削減	後発医薬品の使用割合80%以上	78.5%	90.3%	91.0%	91.0%	91.0%	91.0%	厚生労働省(9月診療)		
	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施について	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	-	調整開始	調整	調整	実施	実施	KDBシステム		